〔正七位医学士筒井八百珠述〕外科総論　巻之一

外科総論　巻之一

正七位医学士筒井八百珠述

外科總論

月次

損傷

(一)創傷(開ㇻ創)(閉ㇻ創)

區別

症候

(一)出血　(二)疼痛

轉歸症

原因　症狀　治斷　豫後

治過

一　即應急

二　手ニ即應急

考症

症候

豫後

骨関
化膿（骨膿）ニ就テ
診断
轉歸
豫後
療法
(一)骨折ノ整復法（骨療法）
(イ)器械的骨折
(ロ)徒手的骨折
(ハ)骨折ノ固定法
手術者ト助手ト、
器械、
副子ノ種類
整復ノ要領
固定ノ要領
(ニ)骨折ノ後療法
(ホ)骨折ノ合併症
(ヘ)骨折ノ治癒遅延
(ト)骨折ノ偽關節
(チ)骨折ノ變形治癒
(リ)骨折ノ癒着
(ヌ)骨折ノ拘縮
(ル)骨折ノ骨萎縮
(ヲ)骨折ノ骨化生
(ワ)骨折ノ骨髄炎
(カ)骨折ノ壞疽
(ヨ)骨折ノ破傷風
(タ)骨折ノ神經麻痺
(レ)骨折ノ關節強直
(ソ)骨折ノ骨端離開
豫後
診斷
治療法
(二)挫傷
定義
症候
(イ)骨膜ノ
(ロ)骨ノ
(ハ)關節ノ
(ニ)筋肉ノ
(ホ)腱ノ
(ヘ)血管ノ
(ト)神經ノ
(チ)皮膚ノ
(リ)全身ニ及ス影響
(ヌ)挫傷ノ治癒經過
診斷
豫後
治療法

全身症之部位

大傷（馬之傷）
原因
症候
療法

A）電撃之傷（雷之傷）
原因
症状
療法

B）日射病
原因
症状
療法

C）凍傷
原因
症状

五十二
五十五
五十六
五十七

傷痍
傷所
治療法

D）腐蝕
原因
症状
治療法

五十九

毒剤
毒蛇咬傷
蜂毒
毒蛇咬傷
症状
療法

狂犬病（恐水病）
原因
症状

六十一

訴訟
強欲
貪婪

侵奪
貪因
売女ヲ買ヒ
奪取
脾腹痛
貪因
売女、沈酔、強欲
奪取

姦婬ヲ
貪因
売女、沈酔ヨリ強欲
沈奪取

強淫奸通

さ十二

さ十九

さ十六

さ十七

貪因、売女、強欲
沈奪取

窃盗、売女、沈酔
沈奪取

悪物創
貪因
売女
沈酔
沈奪取

注意一件

さ十八

さ十九

外科學總論 緒論

外科ト心竟内科ニ對スルモノヲ云フモノニ身体ノ疾病ヲ研究スルモノニシテ外科ニ携ハル者ハ内科ノ診察ニ熟練セサルヘカラス且之ト疾病ヲ攻療スルヲ外科ノ主トスル所トス而シテ内外ノ区別ハ実ニ容易ニアラス如何トナレハ十九世紀ノ始メ迄ハ外科ハ単ニ手術ノミヲ以テ外科ノ全部ト為シ内科ハ薬剤ヲ以テ疾病ヲ治スルモノト為シ例ヘハ肝臓ノ疾病ノ如キハ内科ニ属シ腸閉塞ノ如キハ外科ニ属シ腹病ノ如キハ内外科ノ区別ヲ為スヲ得ス故ニ昔時ハ外科ハ単ニ手術ヲ以テ治スルモノト為シ内科ハ薬剤ヲ以テ治スルモノト為シタリ

トハ云フモノノ決シテ必ス手技ノミヲ以テ内科ニ於テハ薬剤ヲ以テ治スルモノト為シ外科ハ手術ヲ以テ治スルモノト為シタルニアラス大ニ内外科ノ区別ヲ為スヲ得ス故ニ昔時ハ外科ハ単ニ手術ヲ以テ治スルモノト為シ内科ハ薬剤ヲ以テ治スルモノト為シタリ

トハ云フモノノ決シテ必ス手技ノミヲ以テ内科ニ於テハ薬剤ヲ以テ治スルモノト為シ外科ハ手術ヲ以テ治スルモノト為シタルニアラス大ニ内外科ノ区別ヲ為スヲ得ス故ニ昔時ハ外科ハ単ニ手術ヲ以テ治スルモノト為シ内科ハ薬剤ヲ以テ治スルモノト為シタリ

トハ云フモノノ決シテ必ス手技ノミヲ以テ内科ニ於テハ薬剤ヲ以テ治スルモノト為シ外科ハ手術ヲ以テ治スルモノト為シタルニアラス大ニ内外科ノ区別ヲ為スヲ得ス故ニ昔時ハ外科ハ単ニ手術ヲ以テ治スルモノト為シ内科ハ薬剤ヲ以テ治スルモノト為シタリ

トハ云フモノノ決シテ必ス手技ノミヲ以テ内科ニ於テハ薬剤ヲ以テ治スルモノト為シ外科ハ手術ヲ以テ治スルモノト為シタルニアラス大ニ内外科ノ区別ヲ為スヲ得ス故ニ昔時ハ外科ハ単ニ手術ヲ以テ治スルモノト為シ内科ハ薬剤ヲ以テ治スルモノト為シタリ

外科ハ必要ノ内科ト相待テ醫師ノ缺ク可カラサルモノニシテ両者ノ相要スル恰モ車ノ両輪鳥ノ両翼ノ如シ醫師タル者ハ熟知セサルヘカラサルモノナリ初学ヲ研究スルモノハ手術ハ甚タ困難ナルモノニシテ學問医アラサル者ハ何人モ之ヲ行フ得ストナス考フルモノアリ之レ甚ダシキ謬見ナリ何トナレハ手術ヲ知ラサル醫ハ其任ヲ全フセス突然トシテ患者ヲシテ殞命セシムルノ恐アリ例ヘハ一動脈ヲ傷ケタル患者アリタリトセヨ此術ヲ知ラサルヘキ如何ニ之ヲ救助シ異物ヲシテ嚥下セシ得タル場合ニ於テハ如何ニ之レヲ救フ氣管切開ヲ器械ヲ取リ除ク可キカ之ヲ実ニ一瞬ノ間ニ人ノ生命ヲ左右スルヲ得ル實ニ此術ノ効大ナラスヤ此ニ於テ之ノ術ヲ知ラサルヘキ瞬間ニシテ殞命スルヲ以テ故ニ外科ノ手術ヲ修メサル之ヲ知得セサル可カラス以前ハ甚タ巧ミナル人ニアラサルヘキ外科手術ニ為スノ能ハサルモノト考ヘ敢テ進ンテ之ヲ為サス然レトモ今日ハ以前ト異ナリ血液ヲ止ムル法アリ又患者ヲ麻酔セシムル方法モアリ故ニ其手術ハ甚タ容易ナリ是モ以前ニ比シ速カニ要スヘキ為ス如何ナル人ト雖モ外科学ノ奥ニ達スルヲ得ル尚学ヲ研究スルニハ解剖生理病理或ハ器械等ニ深ク注意ヲ要スヘシ又内科学モ能ク知ラサル可カラス然ラサレハ外科医者ニ手術ヲ行フノ時期ヲ失スルコトアリ故ニ内科モ知ラサレ可カラス

外科學總論ハ各論ト異ナリ一般事ヲ論ス例ヘハ皮膚ノ損傷ノ如キ

又論ニ於テハ其局所ニ於テ各論ニ於テ總論ニ之ヲ一般ノ皮膚ノ損傷ニ就テ論シ又總論ニ論セス所ノ疾病ハ各論ニ論スヘシ疾病ヲ概説シテ論スル故ニ總論ナリ各論ヲ知ラサル可ラス先ツ總論ヲ研究スヘシ周頸ヲ感スヘシ此學科ノ目的トスル所ハ損傷疾病、新生物等ナリ

損傷

損傷ヲ其原因ニ区別シテ三種トス [illegible]

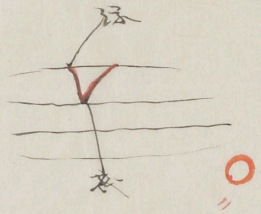
(一) 器械的ノ損傷 [illegible]

(二) 温熱的ノ損傷 [illegible]

(三) 化學的ノ損傷 [illegible]

器械的損傷

之レヲ大区別シテ二種トス吾ニ區別法ハ吾人ノ表面ヲ被フモノハ皮膚ト粘膜ナリ之ノ損傷ヲ受ケタル時皮膚粘膜ガ破レタルカ破レザルカニ依テ區別ス之区別法ハ必要ナリ如何トナレハ実ニ大切ナル原因アリ吾人ノ知ル如ク之皮膚粘膜ハ共ニ身体ノ内部ヲ被フテ城壁トナル故ニ皮膚粘膜ガ破レタルトキハ容易ニ外界ヨリ有害物ノ入リ来ル例ヘハ化膿ヲ来スヘキ分裂黴菌ノ如キ一端破レタル皮膚粘膜アレハ例ヘハ頭部ハ肉眼的ニ注意スルモ見ヘサル位ナルモ遂ニ来ル



銳利ナル器ヲ要スル等別ヒ其ノ連續ヲ離断セル傷ヲ銳利ノ刃ニ
リ受ケ何ニ生活機能ヲ有スベキ保ヲ支ヘヤ否ヤヲ記載スベキ
保ヲ支ヘル外科的ノ主ナル目的ヲ以テ行ヒタル創ヲ外科的創
ト云ヒ銳縁創ト云ヒ外科的ト雖モ其ノ目的ヲ達スルニ必要ナ
キ不要ノ創ヲ作ルベカラザルハ勿論ナリ

(イ)生縁創　生活機能ヲ有スル保ヲ支ヘル銳利ナル器ヲ以テ
(ロ)死縁創　生活機能ヲ有セザル保ヲ支ヘル銳利ナル器ヲ以テ
(ハ)用途ニ因リ其ノ縁ノ生死ヲ異ニスル場合アリ

(ハ)死縁創ハ之ヲ又大別シテ銳利ナル器ヲ以テ作ラレタルモノ
ト鈍体ニ依リテモ作ラレ得ルモノトニ分ツヲ得ベシ

(イ)挫創　鈍体ニ依リテ作ラレタル創ニシテ皮膚ノ裂創ヲ伴ヒ
(ロ)咬創　ヲ伴ハザルモノヲ謂フ
(ハ)裂創　ヲ伴ヒ
(ニ)銃創　ヲ伴ヒ

(ニ)混合創　ヲ伴ヒ

(ホ)擦過創　ヲ伴ヒ

(ヘ)刺創　ヲ伴ヒ

(ト)切創　ヲ伴ヒ

(チ)割創　ヲ伴ヒ

(リ)骨折　ヲ伴ヒ

(ヌ)脱臼　ヲ伴ヒ

(ル)骨膜下損傷　ヲ伴ヒ

(ヲ)内臓損傷　ヲ伴ヒ

(ワ)神経損傷　ヲ伴ヒ

(カ)血管損傷　ヲ伴ヒ

(ヨ)関節内創　ヲ伴ヒ

(タ)骨膜下損傷　ヲ伴ヒ

(レ)内臓損傷　ヲ伴ヒ

(ソ)神経損傷　ヲ伴ヒ

(ツ)血管損傷　ヲ伴ヒ

(ネ)関節内創　ヲ伴ヒ

(ナ)骨膜下損傷　ヲ伴ヒ

(ラ)内臓損傷　ヲ伴ヒ

(ム)神経損傷　ヲ伴ヒ

(ウ)血管損傷　ヲ伴ヒ

(ノ)関節内創　ヲ伴ヒ

(オ)骨膜下損傷　ヲ伴ヒ

(ク)内臓損傷　ヲ伴ヒ

(ヤ)神経損傷　ヲ伴ヒ

(マ)血管損傷　ヲ伴ヒ

(ケ)関節内創　ヲ伴ヒ

(フ)骨膜下損傷　ヲ伴ヒ

(コ)内臓損傷　ヲ伴ヒ

(エ)神経損傷　ヲ伴ヒ

(テ)血管損傷　ヲ伴ヒ

(ア)関節内創　ヲ伴ヒ

(サ)骨膜下損傷　ヲ伴ヒ

(キ)内臓損傷　ヲ伴ヒ

(ユ)神経損傷　ヲ伴ヒ

(メ)血管損傷　ヲ伴ヒ

(ミ)関節内創　ヲ伴ヒ

(シ)骨膜下損傷　ヲ伴ヒ

(ヒ)内臓損傷　ヲ伴ヒ

(モ)神経損傷　ヲ伴ヒ

(セ)血管損傷　ヲ伴ヒ

(ン)関節内創　ヲ伴ヒ

此二ノ分類法ハ[illegible]氏[illegible]ハ説ナリ
又[illegible]氏ノ説ハ寂ル臨床的ニ必要ナル分類法アリ [illegible]氏（[illegible]）
[illegible]説トス
[illegible]氏ノ臨床的ノ区別法
（一）清潔創 [illegible]　（二）不潔創 [illegible]
（三）感染創 [illegible]　（四）中毒創 [illegible]
此五ノ区別法ハ臨床的ノ必要ナリ即チ清潔、不潔、感染、中毒等ハ治療上必要
ナリ之レハ四種ノ性質ニ依リ治療上ノ予防等ガ大ニ必要ナリ例ヘバ破傷風ノ如キ創
ニシテモ大害アリ之レ感染毒ナリ又能ク[illegible]ノ如キ中毒創ナリ
（1）清潔創トハ清潔ノ物体ニテ創ヲ受ケタルモノニテ創中ニ異物ナク又創中ニ創傷
伝染病ノ病原ガ入ラザルモノ又毒物モ入ラズ之レヲ清潔創トス
（2）不潔創トハ清潔創ニ反シテ異物ガ創中ニ入リタルモノ（砂、石、木片、木片、衣服片）
（3）感染創トハ創傷伝染病ノ病原ガ入リタルモノ
（4）中毒創トハ毒ト同時ニ入リタルモノ即チ蛇ニ刺サレ或ハ咬マレタルガ如シ
[illegible] 又 [illegible] 両氏ノ分類法ハ異ナル所ナキモ只臨
床的ニ必要ナル即チ治療上ニ必要ナリ

弐、創傷学的ノ分類法ナリ 原因ニ就テハ必要ナル分類法
之レハ前両氏ノ区別法ノ如ク治療上ニ向ツテ必要ナリ又原因ニ就テハ向ツテ必要ナリ又
創ヲ様々ナル原因ノ種類ヲ区別スルハ必要ナル之レヲ挙グレバ
（一）截創 [illegible]
（二）割創又打創 [illegible]
（三）刺創 [illegible]
（四）挫滅創 [illegible]
此四ト更ニ区別ス
裂創 [illegible]
挫創 [illegible]
咬創 [illegible]
截創トハ鋭利ナル器械ニテ切リタル[illegible]即チ小刀 刀ニテ截リタル[illegible]又外
科医ノ手術ニ依ル創ハ治療上ノ目的トスル截創ナリ
割創トハ截創ト同ジク器械ニテ出来タル[illegible]稍々鈍キ器械ニテ強力ヲ以テ
[illegible]創ヲ[illegible]截創ハ且両端一直線ナル[illegible]創ノ深サハ截[illegible]
[illegible]一直線ナルモ割創ハ[illegible]如ク切レ創ニ深[illegible]一直線ニアラズ
如何ナル[illegible]器械ノ方向ニ[illegible]
如クナリ
刺創トハ錐、針、剣、銃剣、[illegible]、等ニテ突キタル創ニシテ創ハ常ニ長
クシテ又広クナク口ハ甚ダ深ク且刺創ノ創ハ器械ノ大サト関係ハ常ニ刺

創のうち大きく切り口がそろい、縫合し易く、治癒も早く、瘢痕も小さく残る創を指す。

挫滅創　鈍器で打撲されて皮膚や筋肉が潰れたり、骨が砕けたりした創。

(一) 裂創　皮膚が引き裂かれたように不規則な形をした創。

(二) 挫創　一般に広くそこに直下の所で骨折を伴い、或いは倒れた時に地面の石などで挫滅されたような創。

(三) 咬創　歯で噛まれた創。時には動物の歯の形がそのまま残ることもある。

(四) 刺創　刃物などで突き刺された創。皮膚の創口は小さいが深部の臓器を損傷していることがある。

創の方向による別法

(一) 縦創　身体の長軸に沿うもの。

(二) 横創　身体の長軸に直角のもの。

(三) 斜創　身体の長軸に斜めのもの。

創の要件を決定する部位と見做す部位

A 瞬創　皮膚の表面に現われた創口の大きさ。

B 腔創（実質創）　皮膚の創口は小さくても、その下の筋肉、骨、脂肪、腱などを損傷し、或いは骨折を伴うもの。

C 貫通創　皮膚の創口は小さくても、身体の内部を貫通し、胸腔、腹腔、脳腔、骨盤腔などに達するもの。

D 穿通創　皮膚の創口は小さくても、身体の内部に達するもの。

創の新旧による別法

(一) 新創　生活反応のある創。

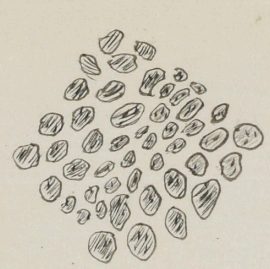
(二) 陳創　生活反応のない創。

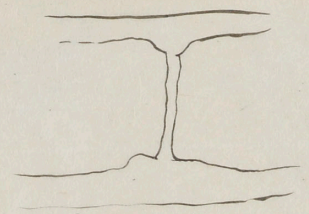
創傷の症候

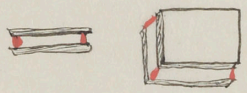
(A) 出血　創傷の症候として最も重要なもの。

この出血に依る症状は、血管損傷の章と重複するので、ここでは省略する。

前論正也、発端剣之時偶
彼之現況而言之種之一疾候
四五日、一二日投薬之後、
甲之者動揺、乙者静止、
之者之論之







症候

是ハ又定行障害トテ知覚中枢ノ障碍シテ[illegible]

摂(攝)行障害 [illegible]

ニ摂行障害ニハ四大主型アリ[illegible]

[illegible]

[illegible]

失語症ノ区別（種類）[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

經過ニ就テ区別

（一）急性失語症 [illegible]

（二）亜急性失語症 [illegible]

（三）慢性失語症 [illegible]

ニ初ノ急性ト[illegible]

ニ区別[illegible] 便利

失語症ノ区別 [illegible]

I 再生性失語症 [illegible]

II 生産性失語症 [illegible]

（一）[illegible]性失語症 [illegible]

（二）発生性失語症（肥大）[illegible]

III 流出性失語症 [illegible]

（一）[illegible]性失語症 [illegible]

（二）[illegible]性失語症 [illegible]

IV 類助性失語症

（一）化膿性失語症（[illegible]）[illegible]

（二）破壊症性失語症 [illegible]

（三）再另性失語症 [illegible]

実

14

（一）再生性失語症（又[illegible]）

ニ再生性失語ト[illegible]

[illegible]

[illegible]

（二）生産性失語症

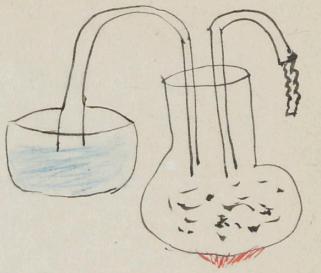
(二) 肉芽性疣

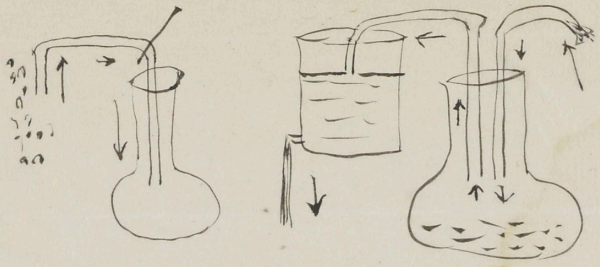
(二) 化膿菌疣

(三) 梅毒

8

（レーベル）
静脈性催眠術ニ於ケル動物試験ノ不可能ニ就テ
動物ニ催眠ヲ施シテ人体ニ於ケル催眠ヲ推知スルハ固ヨリ久敷誤ヲ伴フ私ハ曾テ此事ニ関シ幾ンド試験ヲ施シタルモ其ノ結果ハ悉ク否定的ニシテ動物ニ催眠ヲ施シ得ルヤ否ヤハ頗ル疑問ニ属スルモノト断ゼザルヲ得ズ





Lenin

19

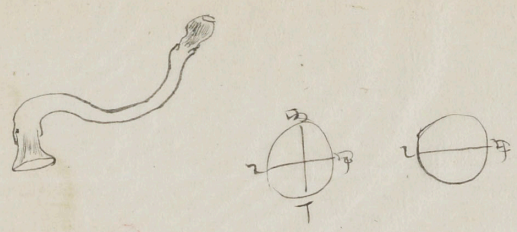
(一) 祖沈

この祖沈と服とを基本と見、新たに潮江、腹痛などの新たな色々な祖沈、一つの色々な祖沈を加えて、

(二) 能沈

(三) 祖沈

(四) 基本用器沈



之ヲ聴診器ト名ク、単ニ聴器ト称スルモ可ナリ、

(二) 聴法

之ヲ聴診スル者ハ、単ニ耳ヲ以テ之ヲ為スモノアリ、又聴診器ヲ用ユルモノアリ、

Dermatophon
Myophon
Tendophon
Osteophon
Sphygmphon

斗トヲ以テ、ゴムヲハメタル喇叭ヲ以テ、胸壁ニ接シ、耳ヲ喇叭ノ端ニ附着シテ聞クヲ以テ、最モ多ク行ハルヽ聴法ナリ、

聴器ニ聴器ト聴脈器トアリ、聴器ハ専ラ心肺ノ音ヲ聞キ、聴脈器ハ専ラ血流ノ音ヲ聞クニ用ユ、

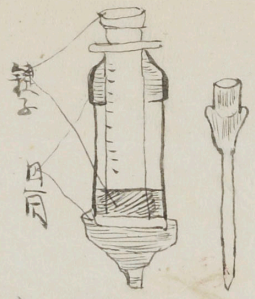
(四) 触法

之ヲ自覚法ト云ヒ、又必要ノ方法ト云フ、

(四) 用器的診法

用器的診断ヲ行フニハ、二ノ器械ヲ要ス、一ハ聴診器ニシテ、他ハ打診器ナリ、打診器ニ数種アリ、最モ簡単ナルハ、指ヲ以テ胸壁ヲ打ツモノニシテ、之ヲ指打法ト云フ、

Dermatophon
Myophon
Tendophon
Osteophon
Sphygmphon


鍵
目同

昇曙夢	発音全廃
昇る朝	〃
重荷降ろし	〃
刺毋糸	〃
的刺青柄	〃
阿斯忘優酔	〃
丁香河	〃
かまそ酸	〃
珍妙	〃
撒骨毒野	〃
地酔	〃

薬品	薬価
膵脂	一、四五〇
石炭酸重曹液	一、〇〇〇
硼砂	五〇〇
安息香酸	一、〇〇〇
鯨油の誤	一、〇〇〇
我魯皮	一、〇〇〇
圓筒備蓄ガーゼ	一、二五〇
硼酸	一、二五〇
石炭酸	三〇〇
類虎根	四五〇
松魚皮膠	六〇〇
安息香酸曹達	一、八〇〇
亜安加保皮	一、二五〇
食砂	四五〇

之の頃ろろ用ゐ防毒マスクは、ガーゼ圓筒に、ホルモリン、

反撥するかやさしくつまみ採ること防毒マスクの如し

みこと採ることにつきまして、城後中膵脱疽梅毒、淋脱

かどもとより何等かの効果なきものと思はるる由オ防毒マスクの主劑と

用ゐ四時以後に脱疽と膵脱疽とを鑑別しやすくなりました品

膠質、

鞣質、

乙 一月以上二月以内に脱するもの

ろ石炭酸（又は石炭酸ワセリール（硫酸ろ）

粗製木酢（五日間）

的列亜戒（五日間）

硼砂安母理漫（五日間）

鞣質（五日間）

塩化鉄ろ%（一日間）

松魚皮ゼラチンろ%（一日間）

ろ硝石混（硫酸ろ）（一日間）

7/00 亜砒酸（十日間）
5/0 塩酸（十日間）
依的児（二十日間）

之等ニ二十四時間浸シ置キタルモノハ一ケ月余ノ後ニ至ルモ尚ホスポーレトシテ発育ス[illegible]
ニ達スル了

以上述ベタル所ハ主トシテ局所的ノ防腐ノ目的ニテ諸毒素ヲ殺スルモノナリ其外梅毒菌ヲ殺ス力アルベシ

其ノ熱力ニ

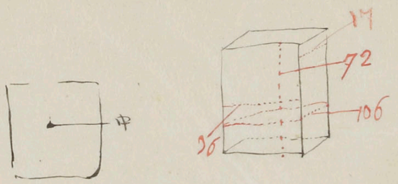
熱ノ如何ナル程度ニテ梅菌ヲ殺シ又ソノ作用ノ力ヲ要スルヤ区別シテ論ズ

熱

(一) 熱湯
(二) 蒸気
(三) 熱気

之ニ種々アリ何レカ有効ナルヤ云フニ[illegible]ヲ比スレバ熱湯最モ強ク之ニ次グハ蒸気ナリ
熱気ヨリ沸騰セル熱湯ニ入ルレバ脾脱疽スポーレハ二分間ニテ死シスポーレナキモノハ直ニ
是ノ桿状梅菌即チ脾脱疽菌ハ是ヲ投ズル程ニ一秒時間ニテ死ス

蒸気ヲ又分ケテ静止アリ (一) 静止蒸気 (二) 流通蒸気 (三) 緊張蒸気



(四) 過熱蒸気（之レ蒸気ヲ更ニ強ク熱シタルモノ） [illegible]
之ヲ種々ノ目的ニ供シ空気ト混合シ其ノ力弱ク之ヲ用フル[illegible]
静止ト流動ノ蒸気ノ目的ニ[illegible] 緊張ニ至ル強シ
蒸気ノ流通スル時ハ強ク且ツ物体ヲ[illegible]
熱気ノ其力弱キモ且ツ蒸気ニ比較スレバ物体ノ内ニ入ル[illegible]長時間
ヲ要ス コッホ氏并[illegible] 両氏ノ試験セルニ毛布ヲ巻キ[illegible]
気中ニ入レテ試験セシニ其ノ内ニ七十二度ニ達セシメタルニ[illegible]
セシメタルニ毛布ヲ（二枚ノ毛布）[illegible]
部ニ試験セシニ九十度ヨリ七十度位ニ昇ル熱気ノ中ニ入レ[illegible]
[illegible]

27
[illegible] 氏ノ試験セシニ其ノ毛布ヲ[illegible]
一時間ニ七十度[illegible]（之レ コッホ氏ノ[illegible]）之レヲ蒸気ニテ[illegible]
[illegible] 保持シ八分間ニシテ[illegible] 之レニ依リテ此ノ如ク種々ノ試験ニテ梅菌ヲ[illegible]
ノスポーレヲ殺ス力[illegible]
力強キ[illegible]ヲ以テ[illegible] 只熱力ノ[illegible] 実験ヲ[illegible]
[illegible] 手術ニ際シテ医師[illegible]

手術ノ前日ヨリ術後ニ至ルマデ
ハルアルモ大切ナル手術ノ
ヨウニ全身浴ヲ施ス

(四) 熱湯ヲ布片ニシテ手ヲ
(四) 手術後 (綿紗) ニテ
(五) 三本仙丸若クハ九参丸ヲ
服用ノ前ニ (悪寒ノ)

(一) 全身浴ヲ命シテ十分ニ温ラ
● 全身浴ヲ命ジ前ニ
(二) 手術ノ後ハ局所ニ毛布ヲ
ベシ (ニモ述ベタル如ク
(三) 重症ノ保護ヲ
(四) 又ハ石炭酸
ベシ

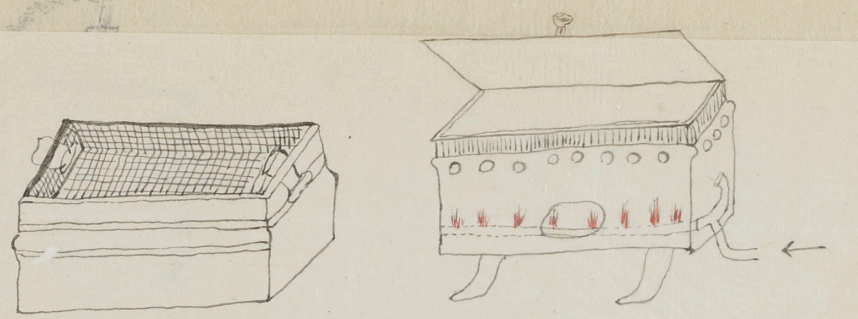
(一) 脈搏ノ増加
(二) 体温ノ昇降
(三) 呼吸ノ増減
(四) 尿ノ分量及ビ其ノ比重
(五) 排泄物ノ性質
(六) 睡眠ノ状態
(七) 食欲ノ増減
(八) 意識ノ明瞭ナルヤ否ヤ
(九) 其ノ他

以上ノ諸点ニ注意シテ病勢ノ変化ヲ観察シ
ソノ経過ヲ詳細ニ記載スルヲ要ス

第三節 手術ノ準備

手術ヲ施スニ当リテハ予メ手術ノ種類ヲ定メ
ソノ準備ヲ整フルヲ要ス

(一) 手術ノ種類ヲ定ムルニハ一般ニ左ノ
(二) 外科ノ手術ハ不潔物ヲ除去スベシ
(三) 外科ノ手術ハ一方ニ於テ温湯ヲ
但創傷ニ直接ニ触レ
ベキモノヲ用フベシ



(一)室内剃毛器械ハ手術前ニ煮沸スヘシ
但刀ハ予メ之ヲ設ケ置カザルヲ可トス

(二)剃毛ハ手術ノ直前ニ行フヘシ

(三)剃毛ハ充分ニ石鹸水ヲ以テ洗滌シ又ハ消毒水ヲ以テ拭フヘシ

(四)手術中ハ絶エス消毒水ヲ以テ拭フヘシ

(五)使用後ハ全ク水気ヲ去リ乾カシテ後ハンコート塗ルカ又ハ石炭酸ワセリン等ヲ塗布シ器械ヲ重用スルニ当リ再ヒ煮沸スヘシ

繃帯及ヒ消毒法

(一)新剃毛ハ三十分蒸気ヲ以テ殺菌スヘシ

(二)殺菌ヲ剃毛ハ常ニ二%曹達液ニ浸シ又ハ石炭酸水ニ一日一回以上新鮮ナルヲ取替フヘシ
但シ昇汞水ハ用ユヘカラス

(三)使用前ハ熱湯ヲ以テ洗ヒ石炭酸水ニ浸スヘシ

器械ノ消毒法

(一)室内剃毛器械ハ手術前ニ煮沸スヘシ
但刀ハ予メ之ヲ設ケ置カザルヲ可トス

(二)取扱ヒタル後ハ必ス二%曹達液ニ五分間煮沸スヘシ

(三)手術中ハ絶エス消毒水ヲ以テ拭フヘシ

(四)使用後ハ全ク水気ヲ去リ乾カシテ後ハンコート塗ルカ又ハ石炭酸ワセリン等ヲ塗布シ器械ヲ重用スルニ当リ再ヒ煮沸スヘシ

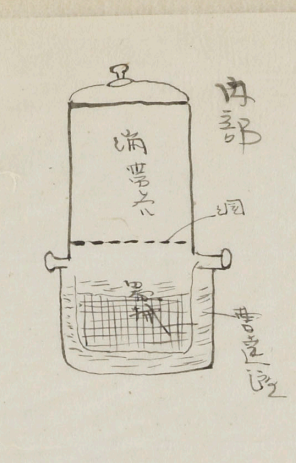
繃帯及ヒ消毒法

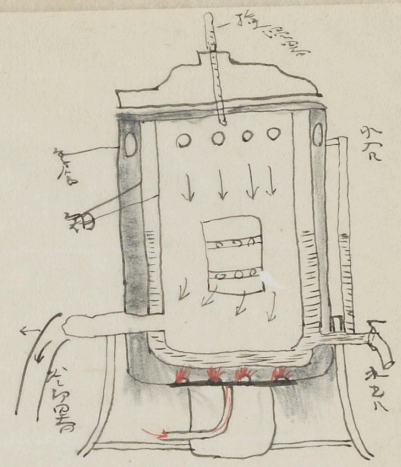
(一)新剃毛ハ三十分蒸気ヲ以テ殺菌スヘシ

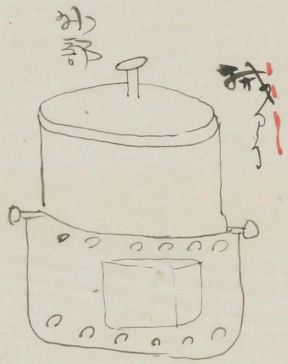
(二)殺菌ヲ剃毛ハ常ニ二%曹達液ニ浸シ又ハ石炭酸水ニ一日一回以上新鮮ナルヲ取替フヘシ
但シ昇汞水ハ用ユヘカラス

(三)使用前ハ熱湯ヲ以テ洗ヒ石炭酸水ニ浸スヘシ

器械ノ消毒法



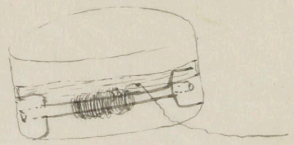




側部ヲ設ケ以テ汽水ノ分離ヲ良好ナラシメ且ツ汽水ノ混合ヲ容易ナラシムルヲ得ルモノトス

第二節　滅菌法

滅菌ニハ煮沸ト蒸気トヲ用ヒ煮沸ニハ普通ノ鍋ヲ用ヒ蒸気ニハ蒸気滅菌器ヲ用ヒ又ハ鍋ヲ用ヒテ之ニ類似ノ装置ヲ為シテ之ヲ用ヒ又ハ鍋ヲ用ヒテ之ニ類似ノ装置ヲ為シテ之ヲ用ヒ



ルモノトス煮沸ニ依リ滅菌スルニハ一般ニ普通ノ用ニ供スル鍋ヲ用ヒ之ニ水ヲ入レ沸騰セシメ其ノ中ニ滅菌スベキ物品ヲ投ジ一定ノ時間煮沸スルヲ以テ足レリトス

煮沸ニ依リ滅菌スルニハ一定ノ温度ニ達スルヲ以テ足レリトスルヲ以テ煮沸ノ際ニ於ケル水ノ温度ハ一〇〇度ニ達スルヲ以テ足レリトス

煮沸ニ依リ滅菌スルニハ一定ノ時間ヲ要スルヲ以テ煮沸ノ際ニ於ケル水ノ温度ハ一〇〇度ニ達スルヲ以テ足レリトス

煮沸ニ依リ滅菌スルニハ一定ノ時間ヲ要スルヲ以テ煮沸ノ際ニ於ケル水ノ温度ハ一〇〇度ニ達スルヲ以テ足レリトス

煮沸ニ依リ滅菌スルニハ一定ノ時間ヲ要スルヲ以テ煮沸ノ際ニ於ケル水ノ温度ハ一〇〇度ニ達スルヲ以テ足レリトス

煮沸ニ依リ滅菌スルニハ一定ノ時間ヲ要スルヲ以テ煮沸ノ際ニ於ケル水ノ温度ハ一〇〇度ニ達スルヲ以テ足レリトス

煮沸ニ依リ滅菌スルニハ一定ノ時間ヲ要スルヲ以テ煮沸ノ際ニ於ケル水ノ温度ハ一〇〇度ニ達スルヲ以テ足レリトス

煮沸ニ依リ滅菌スルニハ一定ノ時間ヲ要スルヲ以テ煮沸ノ際ニ於ケル水ノ温度ハ一〇〇度ニ達スルヲ以テ足レリトス

煮沸ニ依リ滅菌スルニハ一定ノ時間ヲ要スルヲ以テ煮沸ノ際ニ於ケル水ノ温度ハ一〇〇度ニ達スルヲ以テ足レリトス

昇汞精
昇汞 一〇、〇
純アルコール 八〇〇、〇
蒸餾水 二〇〇、〇

[illegible]比[illegible]材料[illegible]
[illegible]
[illegible]昇汞精[illegible]
精[illegible]
[illegible]

拭浄料ノ消毒

手術[illegible]創[illegible]
用[illegible]海綿[illegible]
[illegible]海綿[illegible]
[illegible]
[illegible]殺菌[illegible]
[illegible]海綿[illegible]
[illegible]手術[illegible]海綿[illegible]
[illegible]消毒[illegible]海綿[illegible]
海綿[illegible]新[illegible]

[illegible]海綿[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]海綿[illegible]
[illegible]海綿[illegible]
[illegible]海綿[illegible]
[illegible]創[illegible]海綿中[illegible]
[illegible]創[illegible]

創傷繃帯法

[illegible]
[illegible]
[illegible]

(第一) [illegible] (第二) 繃帯[illegible] (第三) [illegible]
[illegible]
第一[illegible]

Brandenburg.

(三) 猫の年取り

(猫の祝)

(四) 雨乞

(五) 新女房

(六) 桃の児の宴

(二) クレオソール水
(ロ) カルボオール水
(ハ) イヒテオール水
(ニ) アルムノール水
最要用ニ供スルモノハ石炭酸水ニシテ
(イ) 石炭酸
(ロ) 石炭酸水
(ハ) ヨードホルム
(ロ) テルマトール
(ホ) オイカリプトール
(ヘ) 亜鉛華

(ロ) ナフタリン ハ痛ノ劇シキ時ニ用ヒ
許容量ハ一回ニ付キ

(従前ノ)

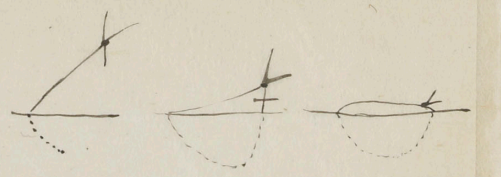
防腐繃帯ノ

防腐繃帯ハ即チ防腐薬ヲ施シタル繃帯ニシテ
消毒ヲ施シタル繃帯ニ異ナルコトナシ
ニシテ之ヲ分チ二種トス

第一 濕帯

(一) 酒精繃帯 酒精ニ浸シタル繃帯ニシテ
ヲ用ヒ酒精ハ刺戟シ易キヲ以テ
ヲ用ヒ

第二 乾繃帯



消去法

消去法とは次の三種のもの

(一) 定量分析の方法

(二) 局部消去法

(三) その他の消去法

○ 局部消去法

局部消去法とは a 或る物質の b 或る部分を c 或る方法で d 除去して e 残りの f 或る部分を g 検査する h 方法をいう (例えば生体の一定の臓器を i 或る薬品で j 溶解して k 残りの l 臓器を m 検査する方法)

一、化学的局部消去法 (一名の化学的消去法)

この化学的局部消去法とは生体の一定の臓器を或る薬品で溶解して残りの臓器を検査する方法をいう (例えば生体の一定の臓器を酸で溶解して残りの臓器を検査する方法)

二、物理的局部消去法

この物理的局部消去法とは生体の一定の臓器を物理的に除去して残りの臓器を検査する方法をいう (例えば生体の一定の臓器を焼いて残りの臓器を検査する方法)

三、生物的局部消去法

この生物的局部消去法とは生体の一定の臓器を或る動物に食わせて残りの臓器を検査する方法をいう (例えば生体の一定の臓器を犬に食わせて残りの臓器を検査する方法)

四、その他の局部消去法

この局部消去法とは前記三種の局部消去法以外の局部消去法をいう (例えば生体の一定の臓器を或る動物に注射して残りの臓器を検査する方法)

五、全身消去法

この全身消去法とは生体の全身を或る薬品で溶解して或る物質を検査する方法をいう (例えば生体の全身を酸で溶解して或る物質を検査する方法)

六、その他の消去法

この消去法とは前記五種の消去法以外の消去法をいう (例えば生体の全身を焼いて或る物質を検査する方法)

七、消去法の目的

消去法の目的は或る物質を検査するに当り生体の或る部分を除去して或る物質を検査し易くするにある

八、消去法の種類

消去法の種類は次の通り

(一) 化学的局部消去法

(二) 物理的局部消去法

(三) 生物的局部消去法

(四) その他の局部消去法

(五) 全身消去法

(六) その他の消去法

九、消去法の適用

消去法の適用は次の通り

(一) 化学的局部消去法の適用

(二) 物理的局部消去法の適用

(三) 生物的局部消去法の適用

(四) その他の局部消去法の適用

(五) 全身消去法の適用

(六) その他の消去法の適用

十、消去法の注意

消去法の注意は次の通り

(一) 化学的局部消去法の注意

(二) 物理的局部消去法の注意

(三) 生物的局部消去法の注意

(四) その他の局部消去法の注意

(五) 全身消去法の注意

(六) その他の消去法の注意

十一、消去法の結果

消去法の結果は次の通り

(一) 化学的局部消去法の結果

(二) 物理的局部消去法の結果

(三) 生物的局部消去法の結果

(四) その他の局部消去法の結果

(五) 全身消去法の結果

(六) その他の消去法の結果

十二、消去法の利益

消去法の利益は次の通り

(一) 化学的局部消去法の利益

(二) 物理的局部消去法の利益

(三) 生物的局部消去法の利益

(四) その他の局部消去法の利益

(五) 全身消去法の利益

(六) その他の消去法の利益

十三、消去法の欠点

消去法の欠点は次の通り

(一) 化学的局部消去法の欠点

(二) 物理的局部消去法の欠点

(三) 生物的局部消去法の欠点

(四) その他の局部消去法の欠点

(五) 全身消去法の欠点

(六) その他の消去法の欠点

十四、消去法の将来

消去法の将来は次の通り

(一) 化学的局部消去法の将来

(二) 物理的局部消去法の将来

(三) 生物的局部消去法の将来

(四) その他の局部消去法の将来

(五) 全身消去法の将来

(六) その他の消去法の将来

十五、消去法の歴史

消去法の歴史は次の通り

(一) 化学的局部消去法の歴史

(二) 物理的局部消去法の歴史

(三) 生物的局部消去法の歴史

(四) その他の局部消去法の歴史

(五) 全身消去法の歴史

(六) その他の消去法の歴史

十六、消去法の文献

消去法の文献は次の通り

(一) 化学的局部消去法の文献

(二) 物理的局部消去法の文献

(三) 生物的局部消去法の文献

(四) その他の局部消去法の文献

(五) 全身消去法の文献

(六) その他の消去法の文献

十七、消去法の索引

消去法の索引は次の通り

(一) 化学的局部消去法の索引

(二) 物理的局部消去法の索引

(三) 生物的局部消去法の索引

(四) その他の局部消去法の索引

(五) 全身消去法の索引

(六) その他の消去法の索引

十八、消去法の補遺

消去法の補遺は次の通り

(一) 化学的局部消去法の補遺

(二) 物理的局部消去法の補遺

(三) 生物的局部消去法の補遺

(四) その他の局部消去法の補遺

(五) 全身消去法の補遺

(六) その他の消去法の補遺

十九、消去法の訂正

消去法の訂正は次の通り

(一) 化学的局部消去法の訂正

(二) 物理的局部消去法の訂正

(三) 生物的局部消去法の訂正

(四) その他の局部消去法の訂正

(五) 全身消去法の訂正

(六) その他の消去法の訂正

二十、消去法の附録

消去法の附録は次の通り

(一) 化学的局部消去法の附録

(二) 物理的局部消去法の附録

(三) 生物的局部消去法の附録

(四) その他の局部消去法の附録

(五) 全身消去法の附録

(六) その他の消去法の附録

二十一、消去法の索引

消去法の索引は次の通り

(一) 化学的局部消去法の索引

(二) 物理的局部消去法の索引

(三) 生物的局部消去法の索引

(四) その他の局部消去法の索引

(五) 全身消去法の索引

(六) その他の消去法の索引

二十二、消去法の補遺

消去法の補遺は次の通り

(一) 化学的局部消去法の補遺

(二) 物理的局部消去法の補遺

(三) 生物的局部消去法の補遺

(四) その他の局部消去法の補遺

(五) 全身消去法の補遺

(六) その他の消去法の補遺

二十三、消去法の訂正

消去法の訂正は次の通り

(一) 化学的局部消去法の訂正

(二) 物理的局部消去法の訂正

(三) 生物的局部消去法の訂正

(四) その他の局部消去法の訂正

(五) 全身消去法の訂正

(六) その他の消去法の訂正

二十四、消去法の附録

消去法の附録は次の通り

(一) 化学的局部消去法の附録

(二) 物理的局部消去法の附録

(三) 生物的局部消去法の附録

(四) その他の局部消去法の附録

(五) 全身消去法の附録

(六) その他の消去法の附録

二十五、消去法の索引

消去法の索引は次の通り

(一) 化学的局部消去法の索引

(二) 物理的局部消去法の索引

(三) 生物的局部消去法の索引

(四) その他の局部消去法の索引

(五) 全身消去法の索引

(六) その他の消去法の索引

二十六、消去法の補遺

消去法の補遺は次の通り

(一) 化学的局部消去法の補遺

(二) 物理的局部消去法の補遺

(三) 生物的局部消去法の補遺

(四) その他の局部消去法の補遺

(五) 全身消去法の補遺

(六) その他の消去法の補遺

二十七、消去法の訂正

消去法の訂正は次の通り

(一) 化学的局部消去法の訂正

(二) 物理的局部消去法の訂正

(三) 生物的局部消去法の訂正

(四) その他の局部消去法の訂正

(五) 全身消去法の訂正

(六) その他の消去法の訂正

二十八、消去法の附録

消去法の附録は次の通り

(一) 化学的局部消去法の附録

(二) 物理的局部消去法の附録

(三) 生物的局部消去法の附録

(四) その他の局部消去法の附録

(五) 全身消去法の附録

(六) その他の消去法の附録

二十九、消去法の索引

消去法の索引は次の通り

(一) 化学的局部消去法の索引

(二) 物理的局部消去法の索引

(三) 生物的局部消去法の索引

(四) その他の局部消去法の索引

(五) 全身消去法の索引

(六) その他の消去法の索引

三十、消去法の補遺

消去法の補遺は次の通り

(一) 化学的局部消去法の補遺

(二) 物理的局部消去法の補遺

(三) 生物的局部消去法の補遺

(四) その他の局部消去法の補遺

(五) 全身消去法の補遺

(六) その他の消去法の補遺

三十一、消去法の訂正

消去法の訂正は次の通り

(一) 化学的局部消去法の訂正

(二) 物理的局部消去法の訂正

(三) 生物的局部消去法の訂正

(四) その他の局部消去法の訂正

(五) 全身消去法の訂正

(六) その他の消去法の訂正

三十二、消去法の附録

消去法の附録は次の通り

(一) 化学的局部消去法の附録

(二) 物理的局部消去法の附録

(三) 生物的局部消去法の附録

(四) その他の局部消去法の附録

(五) 全身消去法の附録

(六) その他の消去法の附録

三十三、消去法の索引

消去法の索引は次の通り

(一) 化学的局部消去法の索引

(二) 物理的局部消去法の索引

(三) 生物的局部消去法の索引

(四) その他の局部消去法の索引

(五) 全身消去法の索引

(六) その他の消去法の索引

三十四、消去法の補遺

消去法の補遺は次の通り

(一) 化学的局部消去法の補遺

(二) 物理的局部消去法の補遺

(三) 生物的局部消去法の補遺

(四) その他の局部消去法の補遺

(五) 全身消去法の補遺

(六) その他の消去法の補遺

三十五、消去法の訂正

消去法の訂正は次の通り

(一) 化学的局部消去法の訂正

(二) 物理的局部消去法の訂正

(三) 生物的局部消去法の訂正

(四) その他の局部消去法の訂正

(五) 全身消去法の訂正

(六) その他の消去法の訂正

三十六、消去法の附録

消去法の附録は次の通り

(一) 化学的局部消去法の附録

(二) 物理的局部消去法の附録

(三) 生物的局部消去法の附録

(四) その他の局部消去法の附録

(五) 全身消去法の附録

(六) その他の消去法の附録

三十七、消去法の索引

消去法の索引は次の通り

(一) 化学的局部消去法の索引

(二) 物理的局部消去法の索引

(三) 生物的局部消去法の索引

(四) その他の局部消去法の索引

(五) 全身消去法の索引

(六) その他の消去法の索引

三十八、消去法の補遺

消去法の補遺は次の通り

(一) 化学的局部消去法の補遺

(二) 物理的局部消去法の補遺

(三) 生物的局部消去法の補遺

(四) その他の局部消去法の補遺

(五) 全身消去法の補遺

(六) その他の消去法の補遺

三十九、消去法の訂正

消去法の訂正は次の通り

(一) 化学的局部消去法の訂正

(二) 物理的局部消去法の訂正

(三) 生物的局部消去法の訂正

(四) その他の局部消去法の訂正

(五) 全身消去法の訂正

(六) その他の消去法の訂正

四十、消去法の附録

消去法の附録は次の通り

(一) 化学的局部消去法の附録

(二) 物理的局部消去法の附録

(三) 生物的局部消去法の附録

(四) その他の局部消去法の附録

(五) 全身消去法の附録

(六) その他の消去法の附録

梅雪説

顧退説

全身痛並痙攣

全身痛並痙攣

制腐法

第十三　医師の切開

切開法

この断面は三稜刺針を指すところの刺傷

一、表面に一致する皮膚の切開

二、表面に一致する皮膚の切開

三、刺傷の方向

四、刺傷の深さ

五、刺傷の数

六、刺傷の位置

七、刺傷の順序

八、刺傷の反復

九、刺傷の変更

十、刺傷の禁止

十一、刺傷の命令

十二、刺傷の報告

十三、刺傷の記録

十四、刺傷の保存

十五、刺傷の廃棄

十六、刺傷の譲渡

十七、刺傷の貸与

十八、刺傷の賃貸

十九、刺傷の売買

二十、刺傷の交換

二十一、刺傷の贈与

二十二、刺傷の遺贈

二十三、刺傷の相続

二十四、刺傷の承継

二十五、刺傷の放棄

二十六、刺傷の消滅

二十七、刺傷の時効

二十八、刺傷の除斥

二十九、刺傷の中断

三十、刺傷の停止

三十一、刺傷の回復

三十二、刺傷の更新

三十三、刺傷の延長

三十四、刺傷の短縮

三十五、刺傷の変更

三十六、刺傷の廃止

三十七、刺傷の禁止

三十八、刺傷の命令

三十九、刺傷の報告

四十、刺傷の記録

四十一、刺傷の保存

四十二、刺傷の廃棄

四十三、刺傷の譲渡

四十四、刺傷の貸与

四十五、刺傷の賃貸

四十六、刺傷の売買

四十七、刺傷の交換

四十八、刺傷の贈与

四十九、刺傷の遺贈

五十、刺傷の相続

五十一、刺傷の承継

五十二、刺傷の放棄

五十三、刺傷の消滅

五十四、刺傷の時効

五十五、刺傷の除斥

五十六、刺傷の中断

五十七、刺傷の停止

五十八、刺傷の回復

五十九、刺傷の更新

六十、刺傷の延長

六十一、刺傷の短縮

六十二、刺傷の変更

六十三、刺傷の廃止

六十四、刺傷の禁止

六十五、刺傷の命令

六十六、刺傷の報告

六十七、刺傷の記録

六十八、刺傷の保存

六十九、刺傷の廃棄

七十、刺傷の譲渡

七十一、刺傷の貸与

七十二、刺傷の賃貸

七十三、刺傷の売買

七十四、刺傷の交換

七十五、刺傷の贈与

七十六、刺傷の遺贈

七十七、刺傷の相続

七十八、刺傷の承継

七十九、刺傷の放棄

八十、刺傷の消滅

八十一、刺傷の時効

八十二、刺傷の除斥

八十三、刺傷の中断

八十四、刺傷の停止

八十五、刺傷の回復

八十六、刺傷の更新

八十七、刺傷の延長

八十八、刺傷の短縮

八十九、刺傷の変更

九十、刺傷の廃止

九十一、刺傷の禁止

九十二、刺傷の命令

九十三、刺傷の報告

九十四、刺傷の記録

九十五、刺傷の保存

九十六、刺傷の廃棄

九十七、刺傷の譲渡

九十八、刺傷の貸与

九十九、刺傷の賃貸

百、刺傷の売買

百一、刺傷の交換

百二、刺傷の贈与

百三、刺傷の遺贈

百四、刺傷の相続

百五、刺傷の承継

百六、刺傷の放棄

百七、刺傷の消滅

百八、刺傷の時効

百九、刺傷の除斥

百十、刺傷の中断

百十一、刺傷の停止

百十二、刺傷の回復

百十三、刺傷の更新

百十四、刺傷の延長

百十五、刺傷の短縮

百十六、刺傷の変更

百十七、刺傷の廃止

百十八、刺傷の禁止

百十九、刺傷の命令

百二十、刺傷の報告

百二十一、刺傷の記録

百二十二、刺傷の保存

百二十三、刺傷の廃棄

百二十四、刺傷の譲渡

百二十五、刺傷の貸与

百二十六、刺傷の賃貸

百二十七、刺傷の売買

百二十八、刺傷の交換

百二十九、刺傷の贈与

百三十、刺傷の遺贈

百三十一、刺傷の相続

百三十二、刺傷の承継

百三十三、刺傷の放棄

百三十四、刺傷の消滅

百三十五、刺傷の時効

百三十六、刺傷の除斥

百三十七、刺傷の中断

百三十八、刺傷の停止

百三十九、刺傷の回復

百四十、刺傷の更新

百四十一、刺傷の延長

百四十二、刺傷の短縮

百四十三、刺傷の変更

百四十四、刺傷の廃止

百四十五、刺傷の禁止

百四十六、刺傷の命令

百四十七、刺傷の報告

百四十八、刺傷の記録

百四十九、刺傷の保存

百五十、刺傷の廃棄

百五十一、刺傷の譲渡

百五十二、刺傷の貸与

百五十三、刺傷の賃貸

百五十四、刺傷の売買

百五十五、刺傷の交換

百五十六、刺傷の贈与

百五十七、刺傷の遺贈

百五十八、刺傷の相続

百五十九、刺傷の承継

百六十、刺傷の放棄

百六十一、刺傷の消滅

百六十二、刺傷の時効

百六十三、刺傷の除斥

百六十四、刺傷の中断

百六十五、刺傷の停止

百六十六、刺傷の回復

百六十七、刺傷の更新

百六十八、刺傷の延長

百六十九、刺傷の短縮

百七十、刺傷の変更

百七十一、刺傷の廃止

百七十二、刺傷の禁止

百七十三、刺傷の命令

百七十四、刺傷の報告

百七十五、刺傷の記録

百七十六、刺傷の保存

百七十七、刺傷の廃棄

百七十八、刺傷の譲渡

百七十九、刺傷の貸与

百八十、刺傷の賃貸

百八十一、刺傷の売買

百八十二、刺傷の交換

百八十三、刺傷の贈与

百八十四、刺傷の遺贈

百八十五、刺傷の相続

百八十六、刺傷の承継

百八十七、刺傷の放棄

百八十八、刺傷の消滅

百八十九、刺傷の時効

百九十、刺傷の除斥

百九十一、刺傷の中断

百九十二、刺傷の停止

百九十三、刺傷の回復

百九十四、刺傷の更新

百九十五、刺傷の延長

百九十六、刺傷の短縮

百九十七、刺傷の変更

百九十八、刺傷の廃止

百九十九、刺傷の禁止

二百、刺傷の命令

ज्यामिति

(भूमिति)

१. परिचय

ज्यामिति गणितको एउटा शाखा हो । यसमा रेखा, कोण, त्रिभुज, चतुर्भुज, वृत्त आदि आकृतिहरूको अध्ययन गरिन्छ । यसमा आकृतिहरूको नाप, तिनीहरूबीचको सम्बन्ध र तिनीहरूका गुणहरूबारे पढिन्छ ।

ज्यामिति शब्द ग्रीक शब्द 'geometria' बाट आएको हो । 'geo' को अर्थ पृथ्वी र 'metria' को अर्थ नाप हो । यसरी ज्यामितिको शाब्दिक अर्थ पृथ्वीको नाप हो ।

ज्यामितिका केही आधारभूत कुराहरू यसप्रकार छन् :

बिन्दु : बिन्दुलाई सानो गोलो चिह्नले जनाइन्छ । यसलाई ठाउँ मात्र भनिन्छ । यसको लम्बाइ, चौडाइ र उचाइ केही हुँदैन ।

रेखा : दुई बिन्दुलाई जोड्ने सिधा आकृतिलाई रेखा भनिन्छ । रेखाको लम्बाइ हुन्छ तर चौडाइ र उचाइ हुँदैन ।

कोण : एउटै बिन्दुबाट निस्केका दुई रेखाबीचको झुकावलाई कोण भनिन्छ । कोणलाई ° चिह्नले जनाइन्छ ।

त्रिभुज : तीनवटा रेखाले घेरिएको बन्द आकृतिलाई त्रिभुज भनिन्छ । त्रिभुजका तीनवटा कोण हुन्छन् ।

चतुर्भुज : चारवटा रेखाले घेरिएको बन्द आकृतिलाई चतुर्भुज भनिन्छ । चतुर्भुजका चारवटा कोण हुन्छन् ।

वृत्त : एउटा निश्चित बिन्दुबाट समान दूरीमा रहेका बिन्दुहरूको बन्द आकृतिलाई वृत्त भनिन्छ ।

२. कोणका प्रकार

कोणलाई नापको आधारमा पाँच प्रकारमा बाँडिन्छ :

१. न्यून कोण : ० देखि ९० सम्मको कोणलाई न्यून कोण भनिन्छ ।

२. समकोण : ९० को कोणलाई समकोण भनिन्छ ।

३. अधिक कोण : ९० देखि १८० सम्मको कोणलाई अधिक कोण भनिन्छ ।

४. सरल कोण : १८० को कोणलाई सरल कोण भनिन्छ ।

५. प्रतिवर्ती कोण : १८० देखि ३६० सम्मको कोणलाई प्रतिवर्ती कोण भनिन्छ ।

३. त्रिभुजका प्रकार

भुजाको आधारमा त्रिभुज तीन प्रकारका हुन्छन् :

१. समबाहु त्रिभुज : तीनवटै भुजा बराबर भएको त्रिभुजलाई समबाहु त्रिभुज भनिन्छ ।

२. समद्विबाहु त्रिभुज : दुईवटा भुजा बराबर भएको त्रिभुजलाई समद्विबाहु त्रिभुज भनिन्छ ।

३. विषमबाहु त्रिभुज : तीनवटै भुजा फरक फरक भएको त्रिभुजलाई विषमबाहु त्रिभुज भनिन्छ ।

कोणको आधारमा त्रिभुज तीन प्रकारका हुन्छन् :

१. न्यूनकोण त्रिभुज : तीनवटै कोण न्यून कोण भएको त्रिभुजलाई न्यूनकोण त्रिभुज भनिन्छ ।

२. समकोण त्रिभुज : एउटा कोण समकोण भएको त्रिभुजलाई समकोण त्रिभुज भनिन्छ ।

३. अधिककोण त्रिभुज : एउटा कोण अधिक कोण भएको त्रिभुजलाई अधिककोण त्रिभुज भनिन्छ ।

४. त्रिभुजका गुण

१. त्रिभुजका तीनवटा कोणको योग १८० हुन्छ ।

२. त्रिभुजका कुनै दुईवटा भुजाको योग तेस्रो भुजाभन्दा ठूलो हुन्छ ।

३. समबाहु त्रिभुजका तीनवटै कोण ६०-६० हुन्छन् ।

४. समद्विबाहु त्रिभुजका बराबर भुजाका सामुन्ने कोण पनि बराबर हुन्छन् ।

५. समकोण त्रिभुजमा समकोणको सामुन्ने भुजा सबैभन्दा ठूलो हुन्छ ।

५. चतुर्भुजका प्रकार

१. वर्ग : चारवटै भुजा बराबर र चारवटै कोण समकोण भएको चतुर्भुजलाई वर्ग भनिन्छ ।

२. आयत : सामुन्ने भुजा बराबर र चारवटै कोण समकोण भएको चतुर्भुजलाई आयत भनिन्छ ।

३. समचतुर्भुज : चारवटै भुजा बराबर भएको चतुर्भुजलाई समचतुर्भुज भनिन्छ ।

४. समलम्ब चतुर्भुज : एक जोडी सामुन्ने भुजा समानान्तर भएको चतुर्भुजलाई समलम्ब चतुर्भुज भनिन्छ ।

५. समानान्तर चतुर्भुज : दुई जोडी सामुन्ने भुजा समानान्तर भएको चतुर्भुजलाई समानान्तर चतुर्भुज भनिन्छ ।

६. पतङ्ग : दुई जोडी आसन्न भुजा बराबर भएको चतुर्भुजलाई पतङ्ग भनिन्छ ।

६. वृत्तका भाग

१. केन्द्र : वृत्तको बीचको बिन्दुलाई केन्द्र भनिन्छ ।

२. त्रिज्या : केन्द्रबाट वृत्तको परिधिसम्मको दूरीलाई त्रिज्या भनिन्छ ।

३. व्यास : वृत्तको एक छेउदेखि अर्को छेउसम्मको दूरीलाई व्यास भनिन्छ । व्यास त्रिज्याको दोब्बर हुन्छ ।

४. जीवा : वृत्तको परिधिमा रहेका दुई बिन्दुलाई जोड्ने रेखालाई जीवा भनिन्छ ।

५. चाप : वृत्तको परिधिको कुनै भागलाई चाप भनिन्छ ।

६. त्रिज्यखण्ड : वृत्तको चाप र दुई त्रिज्याले घेरिएको भागलाई त्रिज्यखण्ड भनिन्छ ।

७. वृत्तखण्ड : वृत्तको चाप र जीवाले घेरिएको भागलाई वृत्तखण्ड भनिन्छ ।

८. परिधि : वृत्तको बाहिरी घेरालाई परिधि भनिन्छ ।

७. नाप

१. लम्बाइ : मिलिमिटर, सेन्टिमिटर, मिटर, किलोमिटर

२. क्षेत्रफल : वर्ग मिलिमिटर, वर्ग सेन्टिमिटर, वर्ग मिटर, हेक्टर, वर्ग किलोमिटर

३. आयतन : घन मिलिमिटर, घन सेन्टिमिटर, घन मिटर

४. तौल : मिलिग्राम, ग्राम, किलोग्राम, क्विन्टल, मेट्रिक टन

५. समय : सेकेन्ड, मिनेट, घण्टा, दिन, हप्ता, महिना, वर्ष, दशक, शताब्दी

६. कोण : डिग्री

८. अभ्यास

१. तलको आकृतिमा कति वटा कोण छन् ? नाम लेख ।

२. तलको आकृतिमा कति वटा त्रिभुज छन् ? नाम लेख ।

३. तलको आकृतिमा कति वटा चतुर्भुज छन् ? नाम लेख ।

४. तलको आकृतिमा कति वटा वृत्त छन् ? नाम लेख ।

५. तलको आकृतिमा कति वटा रेखा छन् ? नाम लेख ।

६. तलको आकृतिमा कति वटा बिन्दु छन् ? नाम लेख ।

७. तलको आकृतिमा कति वटा कोण छन् ? नाम लेख ।

८. तलको आकृतिमा कति वटा त्रिभुज छन् ? नाम लेख ।

९. तलको आकृतिमा कति वटा चतुर्भुज छन् ? नाम लेख ।

१०. तलको आकृतिमा कति वटा वृत्त छन् ? नाम लेख ।

११. तलको आकृतिमा कति वटा रेखा छन् ? नाम लेख ।

१२. तलको आकृतिमा कति वटा बिन्दु छन् ? नाम लेख ।

१३. तलको आकृतिमा कति वटा कोण छन् ? नाम लेख ।

१४. तलको आकृतिमा कति वटा त्रिभुज छन् ? नाम लेख ।

१५. तलको आकृतिमा कति वटा चतुर्भुज छन् ? नाम लेख ।

१६. तलको आकृतिमा कति वटा वृत्त छन् ? नाम लेख ।

१७. तलको आकृतिमा कति वटा रेखा छन् ? नाम लेख ।

१८. तलको आकृतिमा कति वटा बिन्दु छन् ? नाम लेख ।

१९. तलको आकृतिमा कति वटा कोण छन् ? नाम लेख ।

२०. तलको आकृतिमा कति वटा त्रिभुज छन् ? नाम लेख ।

(ア) 和一ヶ所　乳血
(イ) 和二ヶ所　乳疱
(ウ) 和三ヶ所　硬疳

(三)

次に毒蛇咬傷ニ就テ

蛇毒ハ血液ヲ凝固セシメ又ハ溶解シ神経ヲ麻痺セシムル作用ヲ有スルモノニシテ其ノ毒牙ニ依リ注入セラルルモノナリ

毒蛇ノ種類ハ頭ノ形ト尾ノ長サトニ依リ判別スルヲ得ベシ

毒蛇ハ頭ハ三角形ニシテ尾ハ短シ

無毒蛇ハ頭ハ細長ク尾ハ長シ

毒蛇ニ咬マレタル時ハ其ノ傷ヨリ血ヲ流出セシムルヲ第一トス

傷ヨリ血ヲ流出セシムルニハ傷ノ上部ヲ強ク縛シ傷ヲ切開シ又ハ吸出シ法ヲ行フベシ

吸出シ法ハ口ヲ以テ吸出スモノニシテ口中ニ傷ヲ有スル者ハ決シテ行フベカラズ

吸出シ法ヲ行フ者ハ口ヲ清潔ニシ口中ニ傷ヲ有セザルヲ要ス

吸出シ法ヲ行フ者ハ吸出シタル毒液ヲ吐出シ決シテ嚥下スベカラズ

吸出シ法ヲ行フ者ハ吸出シタル毒液ヲ吐出シ口ヲ清水ニテ洗浄スベシ

毒蛇ニ咬マレタル時ハ傷ヨリ血ヲ流出セシメ吸出シ法ヲ行ヒ傷ノ上部ヲ強ク縛シ直ニ医師ノ治療ヲ受クルヲ要ス

(二)

次ニ毒蛇咬傷ニ就テ

毒蛇ニ咬マレタル時ハ傷ヨリ血ヲ流出セシメ吸出シ法ヲ行ヒ傷ノ上部ヲ強ク縛シ直ニ医師ノ治療ヲ受クルヲ要ス

(一)

次ニ毒蛇咬傷ニ就テ

毒蛇ニ咬マレタル時ハ傷ヨリ血ヲ流出セシメ吸出シ法ヲ行ヒ傷ノ上部ヲ強ク縛シ直ニ医師ノ治療ヲ受クルヲ要ス

毒蛇ニ咬マレタル時ハ傷ヨリ血ヲ流出セシメ吸出シ法ヲ行ヒ傷ノ上部ヲ強ク縛シ直ニ医師ノ治療ヲ受クルヲ要ス

毒蛇ニ咬マレタル時ハ傷ヨリ血ヲ流出セシメ吸出シ法ヲ行ヒ傷ノ上部ヲ強ク縛シ直ニ医師ノ治療ヲ受クルヲ要ス

毒蛇ニ咬マレタル時ハ傷ヨリ血ヲ流出セシメ吸出シ法ヲ行ヒ傷ノ上部ヲ強ク縛シ直ニ医師ノ治療ヲ受クルヲ要ス

毒蛇ニ咬マレタル時ハ傷ヨリ血ヲ流出セシメ吸出シ法ヲ行ヒ傷ノ上部ヲ強ク縛シ直ニ医師ノ治療ヲ受クルヲ要ス

[illegible]毒ハ何物ナルヤ未タ[illegible]蛇ノ口中ニアル[illegible]ニ同
ジモノナリ。是ハ蝮、銀環蛇、海蛇ナリ

症候　毒蛇咬傷ヲ受ケタル[illegible]

[illegible]

症候　[illegible]

[illegible]

狂犬病　或ハ恐水病

[illegible]

此病ハ犬、猫、狐、狼等[illegible]

狼ハ[illegible]%　狐　二%[illegible]　九十%　猫　[illegible]%

症候　[illegible]

[illegible]

(五)

毘毒

治療法

之ヲ行フ。患部ヲ腐蝕シ或ハ焼灼シテ傳染ヲ防グベシ〔[illegible]〕存スルモノハ之ヲ

切開シテ其ノ膿ヲ排出シ石炭酸水ヲ以テ洗滌シ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]（[illegible]）防腐剤ヲ用フ[illegible]

[illegible]

（六）

脾脱疽　(Anthrax)

[illegible]脾脱疽[illegible]

[illegible]

[illegible]

ナリ

原因

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

症候

脾脱疽ハ[illegible]ノ入リシ所ニ於テ三日乃至五日ノ潜伏期[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]二日[illegible]

[illegible]

馬 雪 痕

一、馬の名前

二、馬の種類

三、馬の性質

四、馬の食物

五、馬の飼ひ方

六、馬の病気

七、馬の利益

一、馬の名前

馬の名前は、その馬の毛色、性質、生れた場所、又は、その馬の持主の名前などによつて、つけられます。

二、馬の種類

馬の種類は、その馬の用途によつて、いろいろに分けられます。

三、馬の性質

馬は、大へん人になれやすい動物です。

四、馬の食物

馬の食物は、草、麦、豆、藁などです。

五、馬の飼ひ方

馬は、厩に入れて飼ひます。

六、馬の病気

馬の病気は、人間の病気と同じやうに、いろいろあります。

七、馬の利益

馬は、人を乗せたり、荷物を運んだりして、人間の仕事を助けます。

詞の曲の